

けいびょうの最新情報満載!

みんなの けいびょうニュース

2013 vol.23

巻頭インタビュー!信頼の実績を徹底解析!

耳鼻咽喉科の全て!

患者さんをトータルサポート

「医療相談室」のお仕事

栄養サポートはおまかせ!

YES! We are「NST」

当院の優れた技術をもつスタッフを紹介!

けいびょうの「匠」

待ちました!新企画!

周辺グルメMAP

昔懐かしアーカイブ

けいびょう今昔物語

知ってお得なしっとく情報!

病院の薬と薬局の薬の違いって?

時間栄養学ってなんだろう…

イベント探検隊

最新情報

大人気! OPH クロスワード

ご当地ピンクリボンバッジ人気投票

P-1 グランプリ 第5位!

当院隠れ人気キャラクター

ラビリンを
宜しく願います。



Keibyo
News

耳鼻科の概略について教えてください。

現在は、私、佐藤医師、木澤医師、花田医師の4人で診療にあたっています。外来は午前中のみで、午後は検査や病棟の患者さんの対応をしています。

当科の特徴は、500床クラスの他の病院と比べると手術枠が多く、その枠全てで全身麻酔を用いた手術が可能なこと。これにより、手術を行うまでの患者さんの待ち時間が少なくすみ、およそ3週間から1ヶ月で手術の予定を組むことができます。

耳鼻咽喉科における、耳・鼻・咽喉の3領域に関して、それぞれに対する診療体制を教えてください。

まず耳領域ですが、この分野は当科が最も専門にしているところ。主な対象疾患には、真珠腫性中耳炎や慢性中耳炎などが挙げられ、それらに対して鼓室形成術を用いた治療をメインで行っています。この鼓室形成術に関しては、他院では、術後2週間から3週間の入院が必要となりますが、当科では、手術前日に患者さん入院していただき、術後3日程度で帰宅いただけます。

また、当科では顔面神経麻痺や突発性難聴にも力を入れており、日本で初めて顔面神経を専門とした「顔面神経・難聴センター」を立ち上げ、高度な専門性を有した治療を行っています。この顔面神経麻痺に関しては、年間300件以上の治療実績があり、正確な予後検査【※1】による診断により良好な治療成績を収めています。検査により治りが悪いと診断された患者さんに対しては、追加治療を行い、治療率の向上に努めています。さらにこの顔面神経麻痺に関しては、リハビリテーションにも力を入れています。全国的に見て、体系立ててリハビリテーションを行っている施設は3カ所程度ですが、当科はその1施設に該当します。診断がきつちりできること・追加治療ができること・治りにくいタイプの顔面神経麻痺あるいはその後遺症に対するリハビリができること・できてしまった後遺症に対する治療ができること、これらの点を総合的に踏まえているのは、当科が西日本唯一ではないでしょうか。

件の手術件数を目標にして行きたいと思っています。

関西のみならず、遠方からも患者さんが先生を訪ねて来られることがあると伺いましたが。

はい、耳領域に関しては、全国様々な地域から当科を頼って患者さんが見えになります。最も遠方では、鹿児島県の喜界島や沖縄から来られた患者さんもいらっしゃいました。

最近では、スマートフォンの普及などもあり、全国の病院の情報を手軽にインターネット上で検索できる為、受診に関する問い合わせなども増えてきています。当科では、そうした問い合わせに対しても、優秀な外来看護師が懇切・丁寧に対応させていただいています。

診療に関して心がけていることを教えてください。

なるべく時間をかけて患者さんのお話を聞くように心がけています。治療方針に関しては、疾患に対する治療方法の選択肢を提示し、患者さん自らに選択していただくようにしています。この例えとして、よく「当科はレストランです。」と説明します。「A定食・B定食・C定食、

巻頭インタビュー



今回は、目覚ましい躍進を遂げている当院の耳鼻咽喉科を特集しました。初のインタビュー形式、松代部長に耳鼻咽喉科の全てをわかりやすくご説明頂きました。

耳鼻咽喉科部長 顔面神経・難聴センター長
リハビリテーション科部長 大阪大学医学部 臨床准教授

松代 直樹 Naoki Matsushiro

「ありがとう」 の声を胸に...

次に鼻領域ですが、この分野では、昨年3月、ナビゲーションシステム【※2】を導入し、手術を行っています。内頸動脈といった動脈付近や目の周囲に病変があり、正確性が求められる難しい手術なども、従来と比べ非常に安全に実施することが出来るようになりました。

最後に咽喉領域ですが、この分野では、良性の疾患、たとえば、咽頭ポリープや扁桃炎、また耳下腺腫瘍や顎下腺腫瘍などを対象にしています。

耳下腺腫瘍や顎下腺腫瘍に関しては、顔面神経が纏わりついている部分であるため、顔面神経との関係で腫瘍が切除しにくい症例などであれば相談に来ていただければと思います。



特に耳領域に関しては、「いい病院ランキング2013」(週刊朝日MOOK)にここ数年治療実績が掲載される等、目覚ましい発展をされていらっしゃる印象がありますが。

前述の鼓室形成術(耳の手術)に関しては、2009年に私が当院に赴任してきたからは、3年以内に年間100件以上の手術を行うことを目標にし、2011年に目標値に達することができました。この実績は「いい病院ランキング2013」(週刊朝日MOOK)にも取り上げられ、「鼓室形成術(耳の手術)」部門で、全国TOP30位以内にランクインしました。(※「いい病院ランキング2013」に掲載の実績は、2011年実績) ランクインした要因としては、鼓室形成術(耳の手術)の中に含まれる顔面神経減圧手術の実績(年間40件以上)が大きく影響したのではないかと考えています。

こうした実績は、開業医の先生方が当科の治療方針にご理解頂けたこと、また患者満足に見える信頼度から多くの患者さんをご紹介いただけているおかげだと思っています。今後は、年間150〜200ほどの定食を選んでいただいても一定の満足を得ていただけます。」などと説明することもあります。ですので、決して、「この方法が最善なので、この方法で治療を行います。」といったような強制をすることはなく、患者さんの意思を尊重しながら治療を進めるよう心がけています。

最後に、今後はどんな耳鼻咽喉科にしていきたいとお考えでしょうか。

入院治療を終えて帰宅される患者さんから、もっと沢山の「ありがとう」の言葉をかけていただける、そんな耳鼻咽喉科になれたらと思っています。

そうした点では、治療に加えて、患者さんへのサービスの在り方も医師や外来・病棟看護師が丸となって考えなければならぬと思います。先ほどのレストランの話で言えば、「高いお金を払って、確かにご飯は美味しかった。ただ、サービスは良くなかった。」と言われる、こういったレストランにはなりたくないというのが私の気持ちです。

【※1】 予後検査：症状が治るか治らないかを診る検査

【※2】 ナビゲーションシステム：手術中の患者位置と手術器具の位置関係を表示する機器

専門分野

顔面神経麻痺(診断・電気生理検査・保存的治療・外科的治療・神経吻合術・リハビリテーション治療・後遺症対策・ボトックス治療)
耳科手術(鼓室形成術・鼓膜形成術・アブミ骨手術・顔面神経減圧手術・人工内耳植え込み術など)
突発性難聴・特発性難聴の診断・治療
遺伝性難聴・補聴器や人工内耳・人工中耳の研究ほか 耳鼻咽喉科全般

患者さんを
トータルサポート

医療相談室 のお仕事

当院2階には医療相談室という
患者さん相談窓口があります。
今回はここで何が行われている
のか、またそこで働くスタッフの
日々の業務やその中での思いな
どを座談会形式で特集しました。

(インタビュー：企画調整課 角谷)

MSW(医療ソーシャルワーカー)×日常

(角谷) 今回のような企画にご協力頂きありがとうございます。患者さんに医療相談室という部門を知ってもらう良い機会になればと思います。

(村井) こちろこそありがたいです。(角谷) さっそくですが、日常業務について教えてください。

(村井) 第一は、経済的な相談が多いですね。医師からは、転院調整依頼が多いです。当院は急性期病院ですので、重症な患者さんが多いんです。重症であればあるほど、身よりのない、もしくは家族との確認が取れない方が多く、お金の相談なんかも増える傾向があります。そんな中、在宅の分野では師長さんに活躍頂いています。

(岩藤) 家に帰りたい方や、癌で予後が長くないけどどうしても自宅で最期を迎えたいという方に、さまざまな準備をするのが私の仕事の二つです。

(角谷) 準備というのは具体的に？



看護師長
岩藤 五月

多々ありますが、最後に希望していたところに転院でき、感謝の言葉をかけて頂いたことで、やっていてよかったなとつくづく感じましたね。

(岩藤) 私は以前病棟勤務をしていた時、隣臓癌の末期の若い男性が「最期は家に帰りたい」という希望があったんです。しかし結局帰宅させてあげられなまま息を引き取られました。当時は、在宅医療や後方連携などまだまだ整備されていませんでした。「あの時おうちに帰してあげられれば…」という思いがずっとあったんです。現在は医療相談室での勤務ですが、今回同じような状況があったんですね。32歳の末期がんの若い男性です。やはり希望は「在宅で…」

訪問看護師や往診医の先生との様々な調整を何度も行い、いざ退院を決める打合せの際に往診医や訪問看護師とうまく調整がつかずに振り出しに戻りました。少し肩を落としたが、またやっとの思いで、再調整。なんとか帰ることができ、本人も両親もすごく喜んでました。後から訪問看護師の方が教えてくれたんですが、帰宅したその日の夜中にその方は、息を引き取ったそうです。お母さんが息子と最期の夜一緒に寝ることができてすごく喜んでたという話だったんです。「ギリギリのタイミングで自宅に戻ることができた、希望が叶った」という想いは今も忘れられません。不思議なんです、本当に強い意思で自宅へ戻りたいと思う人って絶対に

(新居) いろいろな医療機関とやりとりしますが、治療の途中で病状や容態が変わる患者さんがいます。調整していきたり取りがやり直しになることも感動しました。



医療ソーシャルワーカー
上山 菜美

MSW(医療ソーシャルワーカー)×IT事情

(岩藤) 往診できる先生の手配や、訪問看護師との調整です。当院からはどうしても往診に行く事ができませんので、出来る限り病院に近い環境を作ってあげたいという思いが強いんです。患者さんもその方が安心だと思えます。あとはベッドやマットレスなど、福祉用具などの準備には段取りが必要です。その調達などでケアマネージャーさんともよくやりとりをしますよ。患者さんの退院までに時間があれば、往診の先生、ケアマネージャー、福祉用具の担当者さんや主治医、担当看護師、そして私たちを含めてみんなで今後の方針を相談します。

(角谷) 一言に調整といっても多岐に渡っているのですか。

(上山) その他で言えば、医療費の支払方法を医事課と連携して調整すること、患者さんが制度などを知らずに損をしてしまうことのないようにしっかり情報提供しています。後は、当院が大阪府のがん拠点病院ということもあり、大阪府の相談支援センター部会や院内緩和ケアチームなどにも積極的に参加して常に情報のリニューアルをしています。

(新居) 相談内容で言えば、経済的な相談から転院調整、在宅調整が主ですね。

(上山) あとは、あまり件数はないですが、虐待や自殺未遂なんかも、家族と相談し合う事もありました。相談窓口としてパンフレットなども作ってお渡し



医療ソーシャルワーカー
岡田 欣子

涙を見せないんです。最期が近づいているからこそ、笑顔でいられる。それだけ強い思いがあるし、家族の思いもある。その部分をお手伝いできるのが、「やってよかったな…」というやりがいにつながっています。

MSW×IT事情

(角谷) 時代はIT社会ですが、医療相談室ならではのIT事情は？

(村井) 去年からiPadを導入しました。今までは分厚い資料を患者さんのベッドサイドで開きながら限りある情報を活用していましたが、現在はこのタブレット端末が大活躍してくれています。画面上の文字や画像は大きくなりますし、地図も説明しやすくなりました。

転院先の病室の様子を詳しく見る事ができたり、各種手続き方法なんかもすぐに提供できます。例えば回復期リハビリ病院に行きたいという患者さんには画面上にタッチするだけで、病院検索サイトにリンクしています。今までと違って、全国の情報へ瞬時にアクセスできるとい



医療ソーシャルワーカー
村井 紗希

したりもしています。

患者さんに望む事

(上山) 病気は急になるもの。なってしまうてから急いでバタバタ考えるというよりも、それまでに家族間で十分なコミュニケーションをとっておいて頂けると、だいぶ違うと思います。

(岩藤) もし病気になった時は、医療費はどうなるのかに始まって、家族の誰に連絡をするのかや、最期は自宅で死にたい、とか延命措置は不要などなど。

(村井) 細かく言うと保険証や通帳と印鑑の場所なんかも家族で情報共有しておいてもらえると、スムーズです。

(岡田) 前もつてその辺りがご本人と家族さんとで話合われていることにより、自身が今後こうしていきたいというビジョンに対して、私たちのお手伝いがより具体的にできると思います。

(角谷) 家族の「絆」ですね。逆に望まれることはありませんか？

(岩藤) みなさん長くこの病院にいたい、転院したくないという気持ちをお持ちの方が多いです。ただ当院が急性期病

うことは患者さんにとつてのメリットは大きいです。

MSW×普段心がけている事

(村井) 笑顔ですかね。これは大切です。日々辛いお話とかを聞いたりするんですが基本的には笑顔で接する事を心がけています。

(新居) 患者さんに寄り添う心・ねぎらうということ。

(下村) そして早寝早起きをする。これには自分の体調を万全に整える。これには気をつけています。

(岩藤) 常に、患者さんの理想や希望に最大限近づけられるよう努力をする。これはどの相談員も持っている共通のマインドです。

MSW×未来展望

これからの未来に対して思っています？

(上山) 往診医の先生だったり後方病院といった、社会的な環境が、今まで以上に整ってくれば良いと思います。

(岩藤) やはり往診の先生と病院がITで診療情報連携ができれば患者さんに



医療ソーシャルワーカー
新居 重胤



Yes! We are NST

専門医療チームをご紹介します!

NUTRITION SUPPORT TEAM

皆さんはNSTという言葉をお聞きになったことはありませんか？NSTとは、Nutrition Support Teamの略で、「栄養サポートチーム」と訳します。医師・管理栄養士・薬剤師・看護師など多職種が集まり、それぞれの専門知識や技術を出し合い、患者さんにとって最も良い栄養プランについて考え支援している医療チームです。

栄養は生きていくためにはなくてはならないもので、病気になるたときは誰しもその大切さを痛感します。新薬が開発され医療技術が進歩しても、痩せ細った体では抵抗力も弱く感染症や合併症を起こすリスクが高まります。現場の患者さんを診ていても栄養状態の改善には長い時間と労力を要しますし、栄養改善されたとしても病気がすぐによくなるわけではありません。一方、栄養状態が悪い患者さんの病状は劇的に悪化していきます。ある欧米の研究では、「入院患者の約半数が栄養障害を抱えている」という結果が報告されています。患者さんにきちんと栄養をつけてもらうことがすべての治療の根幹であり、栄養状態の善し悪しが治療効果にも影響を及ぼすということです。



こうした認識が浸透し再確認された結果多くの医療機関でNSTが立ち上がり、2005年当院にもNSTが誕生しました。さて、当院のNSTは発足後9年目を迎えています。活動の中心は昔から変わらず回診です。当初は外科病棟のみでしたが、現在は全入院患者さんの栄養状態を定期的にチェックし、必要があればどの病棟へも足を運んでいます。昨年は500件を超えている回診をし、主治医と連携しながら栄養サポートをさせていただけました。現在院内には栄養に関する専門知識を持つNSTメンバーが総勢30名おり、各職種最低1名ずつが集まり回診

しています。カルテ上だけではなく患者さんや病棟スタッフから得た生の声は、よりよい栄養プランを導き出す上で不可欠です。特に食事内容に関するご相談では提案されたプランを実施するのは患者さんご自身です。食事摂取量には従来の好みや食生活などが影響しやすいため、患者さんやご家族から得られた情報を大切に、できるだけご希望に沿った栄養プランを提案していきたいと考えています。患者さんもチームの一員となったつもりでご協力ください。

2つ目の活動ポイントとしては「教育活動」です。当院は栄養管理のセラピスト育成のための教育機関にもなっており、院内外から実習生を受け入れてい

大阪警察病院副院長
栄養サポートチーム顧問
小杉 圭右 keisuke kosugi

ます。また、NSTメンバーだけでなくすべての職員がスキルアップの機会を持てるよう、定期的な勉強会も企画しています。更に今年度からはNST新聞を発行するという新たな取り組みも始めました。これは、栄養管理上知っておくべき内容を各職種の視点でピックアップし、次々に紹介していくという「隣の晩ごはん」方式のデジタル新聞です。当院には職員がいつでも閲覧できるパソコン上の閲覧機能がありますので、これを利用する形でケアに役立つプチ情報や院内勉強会の予告などを掲載しています。

以上、栄養サポートチームをご紹介します。入院中、栄養に関してお困りのことがあれば、どんな些細なことでも構いませんのでお気軽にご相談ください。色んな専門分野の視点から、全力でサポートさせていただきます。



とって理想的なのでは？と思います。(新居) 就労支援も今後視野に入れていきたいですね。会社の給与補償なんかも相談に乗れるような体制作りが必要だと思っています。

(岡田) まだまだそういう相談にのるケース自体が少ないので今後強化をしていきたいです。そして「医療相談室ではこういう相談にも応じている。」というアピールも同時にしていきたいです。現在大阪府では「OSAKA仕事フィールド(旧JOBプラザOSAKA)」という就職相談窓口があります。今後はそのこととどういう連携をとっていくかも重要になってくると思います。

医療相談室の未来像について

(岩藤) 医療相談室には様々な業務があります。相談員が様々な相談にのっているというのが実情ですが、次の新しい形は考えないといけないと思っています。現在は医療相談室という窓口が一つあるだけで、相談内容がわかりにくくなっているということもあるかもしれません。患者サービスの観点からは、今後例えば福祉の相談、がんの相談と、転院や退院調整の相談など、窓口を患者さんにわかりやすく分けて提供することについても一つです。まだまだ解決しなければならぬ課題はありますが、患者さんと共に歩むということを考える上では、解決して行きたい課題です。



相談室の「実は」...

今みんなで話合っているのは、少し相談室の入口が入りにくい雰囲気があるんじゃないかと。もつと気軽に私たちに相談できる空間作りができればいいなと思います。ここは今後の検討課題ですね。

医療相談室は情報発信が今後重要となる気がしますが

(岩藤) ホームページなども見直しが必要だと思っています。広報誌なんかも今回取り上げてもらったことで、どんな患者さんへ情報提供ができればなと思います。まだまだ入院生活でこんな情報もあつたらいいなという事って多いと思うんです。あまり難しく真面目すぎないような、どことなく温かくてほっとする、そんな発信をしていきたいですね。

こんな時、一度医療ソーシャルワーカーに話をしてみませんか？

- 病気で落ち込んでしまった。
 - 病費など経済的に心配な事がある。
 - 病気や障害と付き合いながらの生活に不自由を感じている。
 - 院内外の人間関係で誰にも相談できないこと。
 - 退院後の生活について不安や悩みがある。
 - 家族の介護や療養のことで悩んでいる。
 - 医療保険、年金、介護サービスについて知りたい。
 - 職場復帰や病気をもちながら働くことについて。
 - 誰に相談してよいかわからない。
- ※秘密は厳守します。※2階寝台用エレベーター前のお部屋です。※一人で悩まずお気軽にお越し下さい。



当院2階

平日：午前8時30～午後5時 土曜日：午前8時30～12時 日祝：休み



みなさんは病院に情報管理課という部署があるのをご存知ですか？IT社会の波に乗り、当院でも8年前から紙のカルテを廃止しました。医師は電子カルテ端末を使いさまざまなデジタルな診療情報を駆使しながら日々患者さんと向き合っているのはご存知の通りだと思います。そんな院内の多岐に渡る情報をとりまとめ、システム開発や運用を手掛けている専門の部署が情報管理課です。電子カルテのような病院全体に関わるシステムを作る時は、院内各部門の調整からシステム開発会社との折衝に至るまで、主導的な役割を担います。また、各部署からのシステムに関する問合せへの対応はもちろんのこと、PCや周辺機器のトラブルへの対応なども柔軟に行っています。

私は、当院入職5年目。以前はシステム開発会社で10年ほどシステムエンジニアとして働いていました。当課は情報技術という専門性の高い分野であるため、私のように外部での勤務経験を得意な分野に活かしている職員が多数います。

ここからは、私が担当している主な業務



事務部 情報管理課

市来 伸吾



Shingo Ichiki

匠

「匠」とは…
すぐれた技能を持つ人

■情報処理技術者試験合格



看護師 中央材料室

柏木 富江



Tomie Kashiwagi

匠

「匠」とは…
すぐれた技能を持つ人

■普通第一種圧力容器取扱作業主任者



週末は夫婦でエンジョイラン!
マラソンが趣味で休日は公園を走っています。

を2つご紹介いたします。
1つ目は、「患者さんのデータを抽出し医療の質の向上につなげる業務」です。当院では、患者さんの診療情報を紙ではなく電子データで蓄積しています。外来だけでも一日にかなり多くの患者さんに来院頂いており、そのデータ量は、膨大です。これらのデータは、主に統計資料の作成や治療の質を向上させるための研究材料として利用されています。たとえば、「昨年1年間に〇〇の病気にかかり、かつ△△の検査を受けた患者さんの人数」を抽出して欲しいといった依頼が、医師、看護師、検査技師から舞い込みます。その依頼書にある条件に合わせ、該当するデータを迅速かつ正確に抜き出し、検証を行い、提供しています。

あります。現場もどうかこれを改善できないかと考えており、私のほうには、日々、そうした業務の電子化の依頼があります。それら業務を電子化する作業は、一つ一つを業務委託にしているのはコストもかさみますし、現場の声に迅速に対応できません。そこで私が、寄せられた依頼内容を精査し、可能であれば、自前でプログラムを作成し、現場に提供するということを行います。少し専門的になりますが、ExcelマクロからJavaで書いた本格的なアプリケーションまで、その時々に応じて使い分けるといったことをしています。最近の例では、周辺病院とベッドの空き具合の情報を共有するための『病棟連携空床紹介システム』や、『MSW※1』のための『ソーシャルワーク記録アプリ』などを構築し、院内職員からは、多くの喜びの声を頂きました。また、大災害が発生して電子カルテが動かなくなった場合でも患者さんへのお薬の処方内容など最低限の情報を閲覧できるように『緊急時電子カルテ閲覧システム』の構築作業にも携わりました。

患者さんと直接接する機会はない当課ですが、「病院にはこんな仕事もあるのだな」とご記憶に留めていただけたら幸いです。これからも院内の様々な業務のシステム化などによる業務改善と円滑な運用を通じて病院の質の向上に努めていきたいと思っております。

【※1】医療ソーシャルワーカー

浄する器械など、一言に「洗浄」といっても時代と共に手法は日々複雑化してきます。当院では、真空超音波洗浄、ジェットウォッシュャー洗浄装置などの大型洗浄機を備えています。細かい部分は機械洗浄では行き届かず、手洗いで行うこともあります。食器洗い洗剤（中性洗剤）の新製品が出るにつれて成分を見ても、よく落ちる洗剤はないか？いつも考えてしまうほどです。

さて、当病院の手術で使われる器械の種類は約5000種類。使用後の器械は洗浄後、点検組立を行います。器械の名前、用途、動き、形状等を的確に把握し、1本ずつ、汚れ、動き、刃こぼれ、錆、摩耗等点検確認していきます。最近では、新しい手術器械や内視鏡の種類も、増えており、器械の説明会、講習会などにも積極的に参加するなど、新たな情報や知識を取り入れるようにしています。

子供の頃、父親が家具や水道などの修理をしていると、傍でドライバを手に、修理の真似事をしていました。今から思うとこの頃から器械が好きだったのかな？と思います。これからも元氣と明るさを胸に、患者さん思いの「中央材料室」に携わり、安全で質の高い医材の供給を行ってきたいと思っております。

時間栄養学ってなんだろう？

時間栄養学とは、人が生まれつき持っている、生活リズムをコントロールする体内時計。今、「時間栄養学」が注目されています。

☆**時間栄養学の基本的な考え方**

生物の活動の基本は、睡眠と覚醒のリズムにあり、その日周リズムを作ります。主に体内時計は脳の中にあり、そのリズムは時計遺伝子によって伝えられます。時計遺伝子が自発的に作るリズムは約25時間間の概日リズムですが、毎朝、光を浴びることで時計遺伝子は時計の針を朝に合わせて、24時間の日周リズムを保っています。

☆**体内時計のリズムを作るには？**

ずばり毎朝、朝食をとることです！この習慣で体の調子が整います。腸が元気に働いて排便リズムが整います。早寝早起きをし、規則正しいリズムで生活をする習慣をつけることで、体内時計のリズムを作ることができます。



管理栄養士
栄養管理課

課長
西尾 勢尾子

☆**体内時計と生活習慣病の関係**

時計遺伝子の活動は、夜更かしなどで狂ってしまいます。朝食をとらないと、時計遺伝子は飢餓の危険を感じて身体活動を低下させ、非常に時に備えて脂肪の合成を促進します。つまり、乱れた食生活は脂肪細胞を肥大化させ、糖尿病や心疾患などの生活習慣病の発症リスクを高めてしまう恐れがあるということです。生活習慣病予防のためにも、朝は光を浴び、朝食をとって規則正しい生活を心がけたいですね。

病院の薬と薬局の薬の違いとは？

薬には、医師が診断をもとに処方する「処方薬」（医療用医薬品）と、医師の診断を受けないで町の薬局やドラッグストアで購入できる「市販薬」（一般用医薬品）があります。一般用医薬品は、最近、「OTC医薬品」という呼称が使われるようになってきました。

医療用医薬品は、医師が患者さんの症状や体質に心じて、その人のその時の状態に最も適した薬や量を決め、その人専用の薬で、効き目が強く、副作用が現れることもありません。一方、OTC医薬品は、病気の症状が軽い場合の初期治療薬で、自分で症状を判断して使える薬です。薬の成分が少なめのものが多く、効き目が弱く、副作用も少ないとされます。

しかし、最近では医療用医薬品をOTC医薬品に転用している「スイッチOTC薬」と呼ばれるOTC医薬品が登場しています。例えば、胃痛や胸やけなどに効能をもつH₂



薬剤部

課長
山根 淳子

プロツカー（ガスター10®など）や、解熱鎮痛薬の成分のロキソプロフェンナトリウム（ロキソニン®S）などです。もともと医師の処方箋で使用していた薬ですので、作用が強く、副作用の心配もあります。

このようにOTC医薬品の中にも様々な薬があります。また、過去にアレルギー症状が出たことのある人は特に注意が必要です。薬を購入する時は、薬剤師等の専門家に相談し、用法、用量や使用方法を守り、症状が回復しない場合は、医師の診察を受けましょう。

ついに完成！ けいびょうグルメMAP!

周辺の気になるお店をまとめました。
みなさん是非ご利用ください!

今回は当院正面玄関を出てすぐを東西に走る夕陽ヶ丘ストリートの特集します。

4 徒歩3分 手打ちそば となみ

おすすめ そば弁当・となみ定食・カツ玉
営業時間 昼11:00~15:00 夜17:00~21:00 定休日:日・祝
住所 大阪市天王寺区真法院町20-2
TEL 06-6779-8424

3 徒歩3分 バラエティキッチン とことん

おすすめ 日替わりランチ(和・洋2種類 800円) (600~650円)
営業時間 昼11:00~15:00 定休日:日・祝
住所 大阪市天王寺区松ヶ鼻11-8
TEL 06-6775-5893

2 徒歩5分 洋食屋 ボナンザ

おすすめ Aランチ・Bランチ・ステーキランチ・ハンバーグ定食・日替わり定食
営業時間 昼11:00~15:00 夜17:00~20:00 定休日:日・祝
住所 大阪市天王寺区鳥ヶ辻2-2-15
TEL 06-6773-1305

1 徒歩8分 ネパール創作料理店 シュレスタ

ランチ Aセット(850円)・Bセット(950円)・Cセット(1,050円)
営業時間 昼11:30~14:30 夜17:30~22:00 定休日なし
住所 大阪市天王寺区堂ヶ芝1-11-8 ジェムエックス1F
TEL 06-6773-0802

当院では、年間通じて様々なイベントが行われています。その中でも特に大きなイベントをレポートします。

けいびょうイベント探検隊!

平成 25年 7月 6日 (土) サマーコンサート開催

今回は、夕陽ヶ丘高校の音楽科のみなさんに心温まる素晴らしい歌声を披露して頂きました。ハーモニーが心地良く、たくさんの患者さんに楽しんでいただきました。「夕焼け小焼け」や「ずいずいずっころばし」などの童謡から、クラシック、昭和歌謡まで幅広いジャンルをご用意いただきました。患者さんからは自然と笑みがこぼれ、素晴らしいイベントとなりました。当院では、年に2回のコンサートを行っております。このコンサートを通じて音楽の素晴らしさを共有し、少しでも元気を引き出してもらえればと思います。次回は冬にクリスマスコンサートを予定しています。こちらも是非お楽しみに!

平成 25年 6月 15日 (土) キャンサーリボンス賛同イベント

「がん支えあいの日」～快適な暮らしのために～開催
リボンスハウスのイベント「がん支えあいの日」を開催しました。天候はあいにくの雨でしたが、たくさんの方に御来場いただきました。講堂内は、医師や看護師に直接相談や質問ができるブースや、ウィッグや手作り帽子コーナー、就労支援コーナーやDVD上映など、がんに対する様々な情報共有の場が出来上がりました。



第1回 懐かしのスポット ～受付編～

当院は、今年で創立76年。そんな長い歴史のある当院も建替えや診療科の新設など、時代と共に装いを新たにみなさんと共に歩んできました。そこで新企画! 当院の注目スポットの今と昔を比べます! 懐かしい気分を味わってみてください!



30年前
この頃は、東京ディズニーランドが開園したりファミコンが登場したりと華やかな年だったようです。



20年前
こちらは旧館から新館への建替え時の様子。良く見ると蛍光灯が少しお洒落になってますね。



そして現在
この10年で、電子カルテや診察受付機、自動支払機など、どんどん病院が進化して行きます。





多数のご好評を頂き、今回もやります

OPH クロスワード!

縦から横から
お好きにどうぞ

たてのキー

1. 本の表紙のうち中身をとじ合わせた側を包む部分
2. 愛媛で栽培されているミカンの一種
4. 亀の「」より年の「」
6. 過去を思い出してしのぶこと
8. OUTの反意語
9. 病気が治ること
10. 一つの家で一緒に暮らすこと
11. 換気が過剰な状態
13. 新聞、雑誌などで伝える事柄
14. メスの牛

よこのキー

1. 別名「ほねつぎ」
3. ホスpital
5. ホリデー
7. スポーツの秋
12. 生で食べるのは危険です
13. 今のままでは危ないという不安や緊迫感
15. 日数や時間数を限って勤務する事

1	2	4	6	8					
H		A							
3	G								
5								9	
7		10	C	11					
		B		12					
	13	F	14	D					
15	E	I							

アルファベットの書かれたマスの文字を順につなげよう。

A	B	C	D	E	F	G	H	I



みなさんいかがお過ごしですか?企画調整課では、日々いろいろな企画を持ち寄り、病院のアピールや患者さんへの役立つ情報を発信し続けています。そんな中、今回新たな企画は大きく2つ。まずは、「病院周辺グルメMAP」です。院内にはゆったり食事をする場所がなく、小さなスペースの中、多数の患者さんが来院されます。歩いて行けるお店でちょっと腹ごしらえ。会話も弾むのではないのでしょうか。次に「今昔物語」です。30年前にタイムスリップし、歴史のある警察病院を感じて頂ければと思います。めまぐるしく動く時代に今もなお地域の中核病院として最新の医療を提供し続ける、そんな病院で企画・情報発信をさせて頂けるということはありがたいことです。次号も読者の皆様のご希望に沿えるような記事を集め、警察病院の「今」を届けたいと思います。
(企画調整課)

企画調整課では「みんなのけいびょうニュース」に関する様々なご意見・ご感想を募集しています。あったらうれしい企画などがありましたら当院1階ご意見箱どうぞ。

気になる!

けいびょう最新情報!

手術支援ロボット
ダヴィンチSi導入しました。

手術支援ロボット(ダヴィンチ)の最新機種「ダヴィンチSi」を導入しました。この機器は医師がハイビジョンカメラの3D映像を見ながら4本のアームを持ったロボットを遠隔操作する内視鏡手術支援ロボットです。

前眼部3次元画像解析装置
OCT SS-1000 CASIA 登場!

前眼部3次元画像解析装置の最新機器で、短時間で、角膜形状や前房深度や角膜厚、角膜変性の混濁位置や深さ、緑内障の角度など詳細な画像の解析が可能となります。体への負担が少なく、レーシックや有水晶体内レンズ、角膜疾患、緑内障、白内障などの手術前後でも安心して検査を行えます。

Osaka Police Hospital Dock Clinic
大阪警察病院付属人間ドッククリニックのご紹介

日本で初めて人間ドックが誕生したのは昭和29年。それからわずか5年足らずで大阪警察病院に人間ドックが誕生しました。このため、当院のドックは半世紀もの歴史があります。平成16年7月から名称を「大阪警察病院付属人間ドッククリニック」へと改め、近鉄大阪上本町駅近くに移転しました。ホテルのような安らぎの空間、多彩なコースやオプション、最新の医療機器を取り揃えています。皆様のご利用を心からお待ちしています。
ご予約は、06-6775-3131まで!
24時間インターネットでも予約を受け付けています。

もっと便利に!
文書窓口オープンしました。

従来、各科外来でお預かりしていた、生命保険等の診断書を始めたとした各種文書の窓口は、現在当院正面玄関入ってすぐ左のカウンターで、お預かりからお渡しまでを一括管理しています。文書のことで何かわからない事があれば気軽にお声をかけてください。

看護職員募集中です。
お問い合わせは人事課人事係まで
06-6775-6051 (代表)
※詳しくはホームページをご覧ください。